

事務事業名 心身障害者扶養共済制度掛金補助事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：205

施策：	11	障害者福祉の充実	財務コード	01030105-19-00
基本事業：	02	地域生活支援の基盤づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域生活支援事業により生活改善された障害者の延べ人数 自立支援医療（精神・更生・育成）による助成を受け経済的負担が軽減されている障害者数		担当課	生活福祉課
			担当係	障がい者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
福岡県心身障害者扶養共済制度に加入する障がい者の保護者で掛金の納付が経済的に困難な者			<事務事業の内容> 心身障がい者の保護者の相互扶助の精神に基づき納付する福岡県心身障害者扶養共済制度掛金について次の各号に定める金額を補助する。 1 生活保護法による被保護世帯 10 / 10 2 前年度分の市民税非課税世帯 5 / 10 3 前年度分の市民税均等割りのみの課税世帯 3 / 10 4 災害により生計の維持が困難となった世帯 10 / 10						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
福岡県心身障害者扶養共済制度に加入する障がい者の保護者に対し、掛金の一部を補助することにより心身障がい者の生活安定と福祉増進を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
心身障害者扶養共済制度掛金の補助を受けた者		人	7	6		7			
5. コスト									
事業費		計	千円	478	363	531	500		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	238	181	265	249		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0 240	0 182	0 266	0 251		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,278	1,172	1,338	500			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		利用者は横ばい傾向だが、扶養共済制度の掛け金が負担となっている保護者等にとってはなくてはならない制度である。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	県の要綱に従い事務を行っているため内容等についての見直しは難しい					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
昭和45年障がい者等の保護者の相互扶助の精神に基づく福岡県心身障害者扶養共済制度発足とともに、この制度の掛金補助事業を開始した。その後、制度の運用環境の変化により収支のバランスが取れなくなったことから、平成20年4月1日より大幅に掛金の引き上げが行われている。				備考・特記事項 or 進行管理欄					